

団体名 南城市立大里南小学校	連絡先 TEL : 098 - 945 - 2455 Eメール : ozatominamisho@edu.city.nanjo.okinawa.jp
--------------------------	---

1 実践事項 (①「特色ある取り組み」)

タイトル:「主体的に学ぶ児童の育成を目指して」

2 実践内容

(1) 学習規律の徹底 (そろえる実践)

主体的・対話的で深い学びのための学習環境を整えるため、学習規律(そろえる実践)を確認し、全学年で統一した指導を行った。毎学期のスタート時に、スライドで再確認を行った。

(2) クロムブックを活用し、児童が主体的に関わる授業の実践

各学年ともクロムブックを活用して、調べ学習や考えを深めあう交流活動を行った。

- ① インターネットを活用した調べ学習(国語・社会・理科・図工・外国語・総合)
- ② 実験の写真や調べたことをスライドでまとめ発表したり、他のグループと考えを比較検討したりする活動(理科・国語)〈資料1・2・3〉
- ③ 器械運動で動画の撮影、ボール運動でジャムボードを使ってチームの作戦を考える。(体育)〈資料4〉
- ④ ICT支援員を活用したプログラミング授業の実践(算数)
- ⑤ 作品の写真を撮影し、鑑賞活動(図工)
- ⑥ タイピング練習

(3) MIMによる読みの流暢性を目指した指導の工夫

1学年の入門期の指導で、特に習得が困難といわれる「特殊音節」について、効果的に指導を行うため、通常学級においてすべての子どもたちの学びを保障する学力指導モデル「多層指導モデル MIM」を取り入れた実践を行った。読みの流暢性を高めていくことを目的とし、校内研修の取組の一環として位置づけ、全校体制で取り組んでいる。〈資料5・6〉

(4) 児童と教師が「学び・育ち」を実感するカリキュラム・マネジメント表

本校では、令和2年度より、教科的横断的な指導に役立てるためにカリキュラム・マネジメント表を活用している。本年度は、学校教育目標やめざす子ども像に迫ることを目指したカリキュラム・マネジメント表となるよう改善し、児童の学習や行事に対するふり返り等を写真と共に掲載し、児童の「学び・育ち」が実感できるようにした。この表を学年の掲示板に貼り児童と共有することで、児童は自身の努力や成長を実感でき、教師はPDCAサイクルを繰り返して、指導の充実を目指すことができるものとなっている。〈資料7・8〉

3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



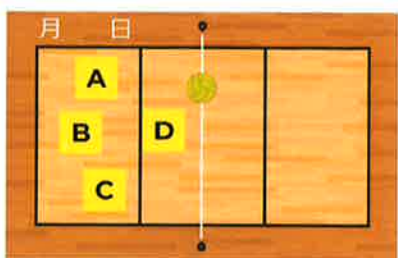
〈資料1〉調べ学習



〈資料2〉スライドで発表



〈資料3〉意見文の発表



〈資料4〉バレーボールの作戦



〈資料5〉長音の視覚化



〈資料6〉動作化



〈資料7・8〉各学年のカリキュラム・マネジメント表

4 成果

○クロムブックを活用することで、児童が主体的に取り組み、交流学习や発表などお互いに学び高め合う授業展開ができた。

○MIM では、視覚化・動作化により表記と音節の理解がスムーズにできた。また、児童の言語能力の実態把握ができ、次年度引継ぎ「言語に関して要支援の児童」が明確になった。

○学校教育目標やめざす子ども像の実現に向け、教科等横断的な指導、単元を見通した指導について修正し、次年度の指導をさらに効果的にすることができる。

○カリキュラム・マネジメント表を各学年の掲示板に掲示することで、子どもたちが自分の「学び・育ち」を実感しやすい。

5 課題

- 全学年において、クロムブックを活用した実践の充実、情報モラルやマナーについての指導
- 言葉が正しく読めることによる、読みの力（読解）につなげる授業実践における手立て
- MIM においては、経年変化の分析調査について